

1. 科目名 (単位数)	基礎演習Ⅱ (1単位)	3. 科目番号	GEBS2108
2. 授業担当教員	小松 昭吾		
4. 授業形態	演習、発表、グループ討議	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	統計学を履修していることが望ましい。		
7. 講義概要	<p>心理学は科学として在ることを示すことで生まれ、また経験と実践の学としても積みあげられてきている。学問としての心理学を学んでいくにあたり、心理学的なものの見方や考え方を養うことは欠かせない。これは、先人の研究成果を正確に読み取り、自身の意見を論理的に組み立てることであつたり、臨床心理学的な観点から人間理解を深めることであつたりする。</p> <p>本講義においては、心理学の専門的内容を学び始める準備として、心理学の基本的なテーマを取りあげながら、基礎的な知識を身につけると同時に、学問としての心理学の視点・観点を身につけることをねらいとする。講義においては演習や議論、発表を通して、知識と同時に体験的な理解を深めていく。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 心理学的なものの見方や考え方を体験的に身につけていく。 2 心理学の基本的なテーマについて基礎知識を学ぶ。 3 自ら学び、まとめる過程を通して、心理学的視点を身につけ、応用する力を養う。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>学期中に、以下の課題を提示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Microsoft Excel を用いた図表の作成。 2. 日本心理学会「執筆・投稿の手引き」を自分なりにまとめる。 3. 論文から読み取れることを自分なりにまとめる。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】指定無し</p> <p>【参考書】・遠藤健治 (2002). 例題からわかる心理統計学. 培風館。 ・瀬谷安弘・天野成昭 (2020). 心理学研究のためのレポート・論文の書き方マニュアルー執筆のキーポイントと例文. ナカニシヤ出版。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 心理学的なものの見方や考え方を体験的に身につけることができたか。 2) 心理学の基本的なテーマについて基礎知識を学べたか。 3) 自ら学び、まとめる過程を通して、心理学的視点を身につけ、応用する力を養えたか。 <p>○評定の方法</p> <p>学則で定められた単位取得の条件(3/4以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度(授業への積極的参加や発言)50%、試験にかかわる課題レポート50%として算出した合計得点により成績評価を行う。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>この授業はあらゆる物事の問題を特定して、適切に分析することによって最適解に辿り着くための思考方法を備えた上で、心理学の基礎的な表現や記述の仕方などを習得することに重点を置いています。「心理学実験」などの今後の授業に必要なレポート作成を中心とした知識・技術を身につけるための授業です。</p> <p>授業態度に関する加点・減点の具体的内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業中は、よく聞き、よく考え、そして復習をすること。 2. ディスカッションやグループワーク等において、自主的・主体的かつ協力的に学習を進めること。 3. 授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退、中抜けをしないこと。欠席、遅刻、早退をした場合は、その理由を必ず教員に書面をもって報告すること。 4. 携帯電話・スマートフォンの授業中の作動は厳禁とする。他の受講生の学習に迷惑をかける行為(私語、居眠り、グループ活動に協力しない等)を慎むこと。 		
13. オフィスアワー	別途通知します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション 心理学レポートの書き方	事前学習	シラバスを熟読しておくこと。
		事後学習	配布された資料を見直し、今後の見通しを持っておくこと。
第2回	心理学研究 執筆・投稿の手引きを読解する	事前学習	心理学研究の執筆投稿の手引きを各自手にいれること。
		事後学習	授業で示した内容について理解しておく。特に研究における倫理についての理解を深めておくこと。
第3回	心理学レポート レポートの大見出しについて	事前学習	心理学レポートの構成要素について調べておくこと。特にそれぞれがどのような意味を持つか理解しておくこと
		事後学習	配布した資料やグループワークを中心に復習し、構成要素のそれぞれの内容について理解を深めること
第4回	心理学レポート タイトル、問題と目的の書き方について	事前学習	前回の講義について復習し、まとめておくこと。
		事後学習	調査研究や実験研究のタイトルの付け方について、理解しておくこと。特に授業中に指摘した留意点についてまとめておくこと
第5回	心理学レポート 問題と目的の書き方	事前学習	第3回の講義内容について復習し、まとめて

			おくこと。論文を検索し、手に入れておくこと
		事後学習	先行研究の適切な調べ方、入手方法について理解を深めておくこと。レポートの構成について理解しておくこと
第6回	心理学レポート 研究方法について	事前学習	心理学研究における研究方法について、どのようなものがあるのか調べておくこと
		事後学習	心理学研究の多種多様な研究方法の特性について口頭で説明できるようにしておくこと
第7回	心理学レポートにおける方法の記述の仕方について	事前学習	心理学レポートの方法の書き方について調べておくこと
		事後学習	心理学レポートにおける調査研究の方法の書き方、実験研究の方法の書き方について理解を深めておくこと
第8回	心理学レポートにおける統計	事前学習	記述統計におけるグラフや表の作成について調べておくこと
		事後学習	記述統計におけるグラフや表の作成、挿入の仕方について復習しておくこと
第9回	心理学レポートにおける統計結果の記述の仕方について	事前学習	心理学レポートにおける統計の記述の仕方について調べておくこと
		事後学習	t 検定や分散分析の結果の記述について調べておくこと。特に必要な情報の記載の仕方について理解をしておくこと
第10回	心理学レポートにおける結果の記述について	事前学習	心理学レポートにおける結果の記述について調べておくこと
		事後学習	心理学レポートにおける結果の記述について、授業で指摘した留意点について復習しておくこと
第11回	心理学レポートにおける考察の記述について	事前学習	自分の興味のある心理学論文の考察を読んでおくこと
		事後学習	心理学レポートにおける考察がどのような展開をしていくのかを復習し、理解しておくこと。また自ら考察をどう構成していくかその展開の仕方について理解を深めておくこと
第12回	心理学論文を読む1	事前学習	これまで学んだことを復習し、理解しておくこと。興味のある心理学論文を手に入れておくこと
		事後学習	心理学論文を実際に読んでいく上で、留意点をまとめておくこと
第13回	心理学論文を読む2	事前学習	調査研究を扱った心理学論文を手に入れておくこと
		事後学習	調査研究を読解する際に留意するべき点についてまとめておくこと
第14回	心理学論文を読む3	事前学習	実験研究を扱った心理学論文を手に入れておくこと
		事後学習	実験研究を読解する際に留意するべき点についてまとめておくこと
第15回	この授業で学んだことのまとめ	事前学習	これまでの授業内容をまとめ、それぞれの回でどのようなことを学んだのか口頭で説明できるようにしておくこと
		事後学習	学んだことを復習し、まとめておくこと